



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)  
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)  
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)  
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"  
副題: -生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部長(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)  
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一  
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

★ 2015年11月 西日本区強調ポイント "Public Relations Wellness"  
「ワイズデーを広報して、ワイズメンズクラブの社会的認知度を高めて  
EMCやクラブの活性化につなげましょう」  
加藤信一 広報・情報委員長

2015年11月第811号  
《69期5号》  
Since 5.17.1948

スポンサークラブ  
・大阪クラブ  
DBC 締結(2007)  
・近江八幡クラブ  
・広島クラブ

クラブ主役員  
会長 浅野 純一  
副会長 西山 茂夫  
直前会長 山口 吉郎  
書記 廣瀬 一雄  
書記 山口 吉郎  
会計 足立 康幸  
会計 岩田 健司  
監事 丸山 悦治  
担当主事 宗行 孝之介  
部Yサユース主査 山口吉郎

我らのモットー: 強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う  
To acknowledge the duty that accompanies every right !

今月の聖句 「惜しんでわずかしが種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は  
刈り入れも豊かなのです。各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと  
心に決めたとおりにしなさい」(コリントの使徒への手紙 29章 6-7節) 山口吉郎メン選

## 2015年11月第一例会ご案内

日時 11月13日(金) 9時~16時

会場: 西宮YMCA保育園3階

ドライバー: 万本ワイズ、岩田ワイズ

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 聖句朗読 食前感謝
5. 会食
6. 全国リーダー研修会報告  
西宮・宝塚YMCA 中島リーダー
7. メンバースピーチ  
「マイナンバー制度とは」  
西宮クラブ 足立康幸ワイズ
8. お誕生日のお祝い
9. ワイズニュース 浅野会長
10. YMCAニュース 宗行主事  
ファミリープログラム案内
11. 閉会点鐘

## 【10月例出席状況】

第1例会(10/25日)  
メン 22名(内 MU3名)  
メネット・コメント 12名  
ゲスト・ビジター 1名  
合計 35名  
出席率 100%  
在籍数 22名

※末尾に9月の修正あり  
第2例会(10/9金)  
メン 15名  
メネット・コメント 2名  
ゲスト・ビジター 0名  
合計 17名  
(累計出席率 94.3%)

## 【お誕生日】

浅野純一メン(11/10)、阪根新メン(11/23)、  
山本容子メネット(11/18)、山口吉郎メン(11/30)

## 【ファンド・BF累計】10月

ニコニコファンド ¥0 累計 ¥15000  
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥0 累計 ¥10500  
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥0 累計 ¥7000  
BF使用済み切手 (前期 ㊦) 今期 ㊦

## 【会長メッセージ】

浅野会長

1989(平成1)年11月10日、この日は私の41才の誕生日で金曜日の朝でした。出勤前のニュースに「ベルリンの壁が崩壊する」様子がライブで映し出されていたのです。それは社会主義諸国崩壊の序曲であったのですが、まさかの出来事に衝撃をうけたことを思い出します。

当時私は伊丹西高校で、地理、政経、現代社会などを担当していたのですが、教材に「工業生産で東ドイツがイギリスを超越した」と記されていました。私は半信半疑ながら授業でもそれを語りました。ところが、東ドイツが西ドイツに編入(1990.10)されてみると、東ドイツの技術革新の遅れ、劣悪な環境、経済の停滞が明らかになりました。かなり後のことですが、東ドイツ政府の公式発表をそのまま高校の教材資料として提供していた学者に腹立たしい思いをもちました。

大学をはじめ教育界には(自称)リベラル的、社会主義擁護の考え方が浸透しています。一例として地理教員の研修会で、ソ連がアメリカに経済的に劣っている原因として、ソ連の厳しい自然条件にあるとした授業実践報告がありました。その実践報告には疑問を持ったものの、私もリベラル的な考え方に浸っていました。なお、リベラルとは自由主義者で、個性の自由、個性を重んじるとあり(広辞苑)、学者も教員もリベラルと言われることを好んでいました。しかし、社会主義国崩壊によって、この頃から私が今まで当然と思っていたことが果たして正しいのだろうかとの疑問が出てきました。

偉大な哲学者デカルト(1596~1650)は、当時のありとあらゆる学問を学んだ末に、すべての学問は怪しく、疑ってみななければならないとし、そして有名な「我考(おも)う、ゆえに我あり」に到達しました。勉強が大嫌いであった私が、偉大な哲学者を引き合いに出すのはおこがましい限りですが、関学1回生の基礎ゼミで、デカルトのレポートを書かされ、それが身に付いていたのか、疑ってみなければと思いはじめました。

私は大学卒業後に民間企業に就職しましたが、元々モラトリアム的人間で、次第に仕事に対して精神的なしんどさを感じて退職しました。教員なら自由そうに思え、YMCAの活動で高校生とも活動を共にしたことがあり、教員免許もなかったのですが、大学に編入して免許を取得、アルバイトを辞めての3か月の受験勉強の末、高校教員となりました。特に学問が好きとか、或いは教育に情熱を感じて教員になったわけではなく、昔、言われた「でもしか教師」の一種だと思っています。教員の仕事は思いの外、

ハードな仕事でしたが、振り返ってみれば、共働きの子育て、両親の面倒を見る、震災と最も忙しい40半ばを過ぎた90年代中ごろ遅まきながら、私は教師として、生徒の為にも勉強しなければと思うようになりました。その頃、私が最も関心を持ったことに北朝鮮による拉致問題があります。拉致被害者の方の一人はヨーロッパ留学中、知人に誘われて北朝鮮に渡り、そのまま拉致されました。教科書には、北朝鮮のことを「朝鮮民主主義人民共和国」と記され、独自の社会主義建設に取り組み、首都、平城の発展した姿の写真が紹介されていました。しかし、真実とは異なることは今では衆知のことです。もし、被害者の女子学生の方が真実の姿を知っていたら、北朝鮮行には応じなかったと思います。正しいことを伝えることは教育やマスメディアの責任であることは当たり前のことですが、それを痛感したことも勉強しなければと思った要因です。

## 【ワイズニュース】

浅野会長

- 11月3日(祝) チャリティラン しあわせの村  
午前9時集合
- 13日(金) 第一例会 西宮YMCA保育園3階
- 14日(土) 西中国部会 広島YMCA  
コンフォレスト湯来 午後1時開始
- 23日(祝) ファミリープログラム「紅葉のアート  
ウォークラリー」 甲山森林公園(9:30開始  
8:45 阪急西宮北口芸術文化センター前  
9:00 阪急夙川 9:30 現地
- 27日(金) 第二例会 西宮YMCA
- 12月12日(土) クリスマス祝会 須磨オーシャンビュー
- 26日(土) 第二例会 西宮YMCA
- ※ワイワイフォーラムが2月6日(土)に予定されています。

## 【第一例会報告】

ドライバー: 廣瀬ワイズ

10月25日のカーニバルに向けて24日(土)はノミの市の値付け作業をしました。昨年より気持ち物量も多く、品物を並べるテーブルの配置やイスの取りだし、梱包された大小様々な品物を前に時間がかかるのでは、と心配しましたが参加のメネットさん達と皆さんの手際良さで夕刻には準備完了。



青空のもと9時30分から開会式がはじまりました。カーニバル委員長の濱崎メンの挨拶。保育園2階のカレー売り場と3階のノミの市の売り場にそれぞれ担当が販売開始を待ち受けました。



ノミの市には今回初参加の阪根メン、入会予定の河野さんも販売担当に。一角には宮古物品のコーナーと、こちらも初出品のメネットさんの宮古のワカメ販売。来年3月19日のメネット会主催のチャリティジャズライブの資金作りに奮闘。カレーも昼過ぎには完売。閉会式では昨年を上回る売り上げがあった、との報告。4時すぎには3階の片付けも完了し出席の皆さん全員から一言感想を聴きました。ワイズ例会は夜だけ、と思っておられたSメンも参加して楽しかったとの感想を述べられ、強引に御誘いしたドライバーも一安心。最後に浅野会長のシメの挨拶で散会しました。

徒歩にて移動し岡田春美メネットのお世話でイタリア料理店で二次会。17名の皆さんの参加があり、メネットの事業に関する取り組みに対しての話題に熱心な議論があり、熱く盛り上がる慰労会でした。

2日にわたってお手伝いいただきメン・メネットの皆さん御苦労さま。西日本区次期役員研修会に参加の小野メン、長井メンも発表ご苦労様でした。

## 【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ

10月11月は矢継ぎ早の行事の連続でみなさまお疲れは出ていませんか？私もカーニバル準備で年甲斐もなく張り切りすぎてもともと痛めていました半月板をまた痛めてしまいました。年齢と気持ちを合すのは難しいものですね。

さて、神戸YMCAも井上総主事の着任から上半期を終え、漸く内外ともに安定した運営を行えていることは感謝です。しかし、内外には課題が山積しており、日本YMCA同盟においても、そして神戸YMCAにおいても新たな中期計画の作成の作業が急がれているところです。特に同盟、ローカルを問わず今や日本の全YMCAにとって喫緊の課題が「ブランディング」です。神戸Yの中道理事長が同盟でも中心となって精力的に活動されていますが、ローカルでもそのことを具現化しなくてはなりません。



ん。西宮ワイズのみなさまにはYMCA歴が古い方々が大勢いらっしゃいますので釈迦に説法でしょうが、かつて今から数十年前の神戸YMCAの活動はそれ自体が明らかに「ブランディング」そのものでありました。しかし、時代も社会もそして、私たちも変わってゆく中で、神戸YMCAがその価値を地域社会にあまねく知られているという状況では残念ながらありません。ですから、もう一度YMCAが地の塩としてその業をわかりやすい形で説明、提示する必要があります。我々の内輪だけでOKではもはや社会的価値を得ることはできません。その意味でYMCAの活動そのもの、ワイズの活動そのものがブランド(価値といってもよいでしょう)ということを活動や事業を通して実践し続けることが望まれています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 【リーダー会便り】

4回生 幸川祐花リーダー

キッズは今回は北山で登山を行いました。キッズのプログラムでは今年度初の本格的な登山でした。幸い天候にも恵まれ当日は絶好の登山日和になりました。大きな岩や段差急な斜面に苦戦しつつも、年中・年長共に小さな身体をめいっぱい動かし、どのグループも途中でリタイアすることなく目標地点にたどり着くことができました。次回も山登りを予定していますが、どんどん険しい山に挑戦していくことはもちろん、山の楽しさ、自然の雄大さをメンバー同士が共有しあえるような活動をしていきたいとかがえています。

ジュニアは北山で活動しました。自分達で登るルートを決めたり、植物園で植物や生き物に触れ、楽しく山登りができました。皆で協力する姿がたくさん見られ、声を掛け合ったりして山を登る姿がとても素敵でした。

シニア10月例会は六甲ケーブル下から油コブシを通り天覧台を目指してナイトハイクをしました。普段の例会とは違った夜のプログラムで貴重な体験ができたと思います。また暗い環境ということで自然とお友達との距離が縮まり、これまでにはなかった関わりも生まれてきました。



picta.jp - 2827041

## 【神戸ポートクラブ例会参加報告】

浅野ワイズ

10月8日(木)午後7時からのポートクラブの例会に参加しました。場所はJR三宮駅のターミナルホテル4階の一室です。スピーカーは山本智子さん、息子さんの育海(いくみ)くん(現在高校3年生)は、FOPという全身の筋肉が徐々に硬くなり骨に変わっていく遺伝子疾患に罹っています。その病気は約200万人に1人という確立で発生する難病で、わが国では約60人の患者さんがいます。

育海君は小学校3年生のとき、何らかの病気で苦しんでいるのですが、10以上の病院をまわっても原因がわからない。そして、明石市民病院で、医師が、もしかしたらと文献を探して、FOPという難病であることが明らかになりました。この病気は刺激を与えると深化します。食事をすること、欠伸をすることでも病気は深化します。病状は確実に悪化するのですが薬はありません。薬を作ってもらわなければ、医師からiPS細胞にかけるしかないと言われました。

2009年、後にノーベル賞を受賞した(12年)京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授、副所長の戸口田淳也教授に面会しました。2人の先生は育海君の皮膚にメスを入れる必要があると言われました。メスを入れることは病気がかなり深化することになります。育海君は2時間も悩んだ末に了解しました。母親の智子さんは、忙しい2人の先生方がじっと2時間も待って頂いたことに感激したと語られました。

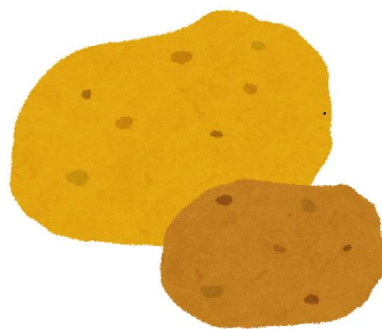
山中教授をはじめ多くの方が努力されていますが、FOPを治癒する薬はまだ実現していません。育海君の病気は彼の成長に伴って深化しています。智子さんはマラソン大会に出場する山中教授に、「マラソンを走る時間があるのなら研究を進めてください」と言ったそうです。山中教授は「これもiPS細胞研究所の資金集めでもあるのです」と応えられたそうです。国からは研究にはおカネが出ますが、研究者を育てるおカネは出ないそうです。世の中には数多くの難病があり、研究の成果を待っています。智子さんは研究所の活動の資金集めに奮闘していると語られ、協力の呼びかけもありました。

ポートクラブの例会には初めて参加しましたが、欠席されている方の消息の報告や、今月の歌がありました。今月の歌は水野メン(前総主事)選曲の『ふるさと』で、全員で歌いました。

## 【じゃがいもファンド作戦】

ファンド委員 山本ワイズ 万本ワイズ

去る10月16日の荷卸しに際しましては到着遅延で皆様に大変ご迷惑をお掛けしましたが17・18日に鋭意配達頂き、お蔭様でかぼちゃ1箱を残し完売致しました。ご協力ありがとうございました。今のところかぼちゃに一部不良があったと報告が入っていますが取替の必要まではないとのことです。(かぼちゃ1箱は西宮Yわいカーニバルに提供)今からの商品取替は難しいですが金額精算は可能ですので、出来栄の確認と代金の回収を宜しくお願いいたします。また、車を提供頂いた方には半日あたり@500円の燃料費をお支払しますのでお申し出ください。よろしく願い致します。



### ◆会計よりお願い

前期の会費が未納の方は早急に会計まで届けて頂くか、口座振り込みをお願いします。

会計 足立ワイズ

### ◆出席率の修正

【9月例出席状況】を下記に修正いたします。

Make Upを見直しました。これで、7月、9月、10月が100%となりました!

第1例会(9/11金)

メン 21名⇒22名(内MU2⇒3名)

メネット・コメット7名

ゲスト・ビジター10名

合計 36名

出席率 95.5%⇒100%!

在籍数 22名

EMC委員長 山口(政)ワイズ